

としまち研会報 第119号

おいらのまち

発行 NPO都市住宅とまちづくり研究会 理事会

創立70周年を迎えた東松下町々会

としまち研の事務所がある千代田区神田東松下町の東松下町々会は、今年（2023年）5月で創立70周年を迎えました。これを祝うため、70周年記念行事実行委員会が組織され、二つの企画が実行されました。

一つ目は「東松下町々会 創立70周年記念誌 ～新旧の融合～」の発行です。町会長挨拶、千代田区長・区のと泉橋出張所長（現・前・元）・地元柳森神社の宮司・禰宜の祝辞、町会の歩み、町会の各部活動の紹介、お祭りの歴史と街祭礼の記録、町会員のエッセイなどで構成され、とても親しみのわく記念誌になりました。

二つ目は「記念祝賀会」です。広く町会員に呼びかけ、80余名の方々に参加していただき、上野精養軒で行われました。来賓として参加して下さった区長や出張所長、柳森神社宮司、近隣の町会長の皆さまから温かい祝辞を頂きました。また、町会活動を献身的に支えて下さった前町会長や元役員・女性部長へ感謝状や花束が贈られました。ご近所付き合いを大切に、長い間町会という組織を守ってきた歴史の素晴らしさを実感しました。

としまち研は、“都心の過疎化”対策として地権者参加型コーポラティブハウスに取り組み、東松下町内では2002年「COMS HOUSE」、2004年「桜ハウス」、2012年「こはす」の計3棟が実現しました。これもお役に立っていると自負しているところでもあります。

【なぜ、町会が創立70周年か？】

町内会は、戦後GHQにより非民主的組織とされ、1947年（昭和22年）ポツダム政令第15号により廃止・解散。その後1952年（昭和27年）サンフランシスコ講和条約発効により町内会組織が解禁となり、1953年（昭和28年）5月に東松下町々会は創立されました。（千代田区地域コミュニティ活性化検討委員会資料を参考）
（としまち研理事長 杉山昇）



70周年記念誌の表紙

おいらのひとりごと

としまち研会員によるリレー形式のエッセイです。

「高校の同窓会 司会進行も楽じゃない（へへ：）」 元田 圭重

今年6月にコロナ禍で先送りされていた高校の同窓会が開催されました。大先輩や後輩をはじめ、約200名の方々がホテルの会場に集結。そこで私に課せられた任務は二部の司会。一部の式典とは違い、アトラクションで盛り上げなければなりません。中でもメインは最後の豪華景品争奪戦のジャンケン大会！市長様、現校長を交えたイベントになりますので失敗はできません。プレッシャーを抱えながらもいよいよスタート！（中略…）友人達の支えもあり、無事に大盛況で終了！

大会終了後、遠くの席から70代の女性が私のところに駆け寄り握手を求められました。そしてそこで言われた一言が、「私、今までの人生の中で沢山のじゃんけん大会に参加してきました。しかし今回が一番良かったです！ありがとうございました！」びっくりしました。本当にこちらこそという思いです。まさに努力が実った瞬間でした。

先日行われた大反省会の席では、大会委員長が私の元に寄り添いビールをお酌、そして肩をポンポンと叩かれ耳元で、「来年もよろしくね」…えっ？ あっ？ はっ はい…暫く逃げられなさそうです（汗…）

以上、誠に略儀ではございますが、私の近況報告に代えさせていただきます。



*次号の「ひとりごと」は大野 智司さんです。お楽しみに。

一木会のご案内（原則、毎月第一木曜日に行う勉強会・交流会です）

☆第334回一木会（2023.9.14）

UIFA JAPONの森田美紀氏・宮本伸子氏・薄井温子氏・加部千賀子氏4名よりお話し頂きました。テーマは皆さんで創り上げた冊子「自然災害に備えて 住まいづくりの勘どころ」を中心に解説。被災地の復興支援に取り組み、その経験から得られた知見や情報は他に類の無い参考書となるものでした。会場・リモート共、「多くの人に渡したい。新築する人には是非！」など感動の声が上がり大拍手で幕を閉じました。

懇親会でも活発な質疑応答に発展、皆さんは時間が過ぎるのも忘れて楽しんだ一夜でした。



☆第335回一木会（2023.10.5）

清水 明 氏（UR都市機構東日本都市再生本部事業企画部付参事）にテーマ「UR都市機構のプレイスメイキングの取り組み」でお話し頂きました。

人の心が中心で居心地が良く、使われる公共空間をつくるための実践に向けた方法論をわかりやすく紹介下さいました。「全体では100頁に及ぶが興味を持たれた方はHPで。」と清水氏。参加者の皆さんから、「URさん、こんな取り組みをしているんだ！」と大拍手でした。

懇親会はさらにヒートアップ。恒例の1分間スピーチにも熱が入り、遅くまで楽しみました。



今後の一木会予定（会場+オンライン）

☆ 2023年11月（11月2日）【第336回一木会】

テーマ：「フレイル予防の傾向と対策」

ゲスト：小林 壽美 氏（シニアライフアドバイザー）

☆ 2023年12月（12月7日）【第337回一木会】

テーマ：「むずかしい条件を楽しむ」

ゲスト：日高 保 氏（きらくなたてものや 代表）



9月懇親会 手締めの様子



10月懇親会 乾杯の様子

～シェアする暮らし～ 西早稲田シェアハウスの運営が終了しました

としまち研と(株)TMKサポートで約13年に渡り運営を行ってきた「西早稲田シェアハウス」が、オーナーのご意向により、今年9月末をもって運営が終了となりました。8月末には入居者3名と最後の懇親会を行い、共に思い出を振り返りつつ、楽しい会となりました。

私が運営に携わって約7年。人と暮らし部会の平石さんや矢ヶ崎さんに不動産の契約や運営方法などを教えてもらいながら、楽しく関わることができました。

としまち研では引き続き、人と暮らし部会を通じて「シェアする暮らし」に取り組んでいきますので、シェアハウスとして活用できそうな物件がありましたら、ぜひご紹介ください。
(人と暮らし部会長 五十嵐 一博)



冬季には懇親会で鍋を囲んだコタツ



ひょう被害で屋根を張り替えたカーポート



真夏に大汗をかいて選定した樹木

2023年度 臨時総会開催の報告

臨時総会を9月27日(水)に開催しました。本間理事の開会の辞、事務局から総会成立の報告、杉山理事長の挨拶、事務局から会員の増減と新入会員紹介、議事録署名人2名選出の後、議案審議に入りました。

第1号議案は役員改選に関する件。今期は役員改選期にあたり、本来であれば5月の通常総会で改選すべきところだったのですが、世代交代を含めて新しい体制を検討するため、それまでの体制の任期も9月末まで延長することを承認いただき、今回の役員改選になりました。

新しい体制への移行に係る検討は現在の理事を中心にを行い、組織の役職や体制、定款や理念等についても論議を重ねたうえで、16名の理事（2名新任・8名退任）、2名の監事（2名新任・2名退任）の体制とすることを提案し、承認されました。

次に報告事項です。としまち研の新たな活動体制について、これまでミーティングで議論した内容を報告。理事の役職は、理事長・副理事長は選任しましたが、事務局長は未定のため、新体制への交代時期は事業の進捗状況や事務局の体制づくり等を勘案し、理事会の決議を経て、新年度の2024年4月1日とする予定です。

部会については、コーポラティブハウス・マンション再生・人と暮らし・総務広報・防災まちづくりの5部会体制とし、各々の部会長・副部長が提案され、10月1日から取り組むことも承認されました。

新たな体制に移行し良好に運営してゆく上で必須である事務局スタッフの募集は年内を目標にし、具体的条件等は至急整理することを皆さんと確認しました。また、(株)TMKサポートに対して担ってほしい役割の検討や提案を行うことと、TMKサポート側にはどのような支援が可能か整理をお願いしました。

臨時総会は高杉理事の閉会の辞で終了し、引き続きミニ懇親会を行いました。



臨時総会の様子

<新体制> 役員の任期：2023年10月1日～2025年5月31日（※）

【役員（理事・監事）】

- 理事長 杉山 昇
- 副理事長 島田 信弘・関 真弓（兼事務局長）・五十嵐一博
- 理事 本間 充一・坂口 耕司・葛西 充・矢ヶ崎洋恵
石坂 堅志・大木 祐悟・田辺 誠史・成田 至弘
牧野 恭久・沼野井 諭・濱田 政和・安藤 美香
- 監事 山口 明・赤羽 彩美

【部会体制】

部会名	正副部会長
コーポラティブハウス	◎島田・○田辺
マンション再生	◎成田・○石坂
人と暮らし	◎五十嵐・○矢ヶ崎
総務広報	◎牧野・○沼野井
防災まちづくり*	◎杉山・○大木

※事務局の体制について理事会の決議を経て、2024年4月1日から
理事長：関、副理事長：島田・五十嵐、事務局長(未定)に移行予定。

◎・・・部会長、○・・・副部会長
*災害復興まちづくり支援委員会から改名。

(としまち研理事・臨時総会議長 石坂 堅志)

「おいらのしごと」 としまち研会員がらだんどのような仕事をしているか紹介するコーナーです。

25年間務めた本間総合建築から現職に移り、はや3年。現在は社員80名ほどの総合設計事務所で監理をメインに業務を行っています。この事務所の良いところは、現場で発生した構造や設備の問題をすぐに社内を確認できることです。また働き方も自由なので、毎日夕食を家族と食べる生活に戻りました。

不満があると言えば、ほぼ100%が行政の仕事なので、税金を使用していることや公共の標準仕様書が決まっていることから、新しい提案が難しいところでしょうか。それでも一生涯に一度しか携われない、約4万㎡もある巨大病院の解体や、八丈島区検察庁の建替え、全国の空港管理棟の調査で普段入室不可の管制室に入ったりと新しい学びもあり充実した日々です。

現在は、区内で唯一子どもが増加している文京区の小学校の増築2件と、以前本間総合建築に在籍していた上尾市職員の矢部さんと新しい学校づくりに取り組んでいます。
株式会社 土屋建築研究所：町田 誠



としまち研掲示板

▼ 法人所有の展開に関する勉強会 ▼

☆次回（第4回）は11月開催で調整中です。
日程が決まり次第、ご案内いたします。

「自然災害に備えて 住まいづくりの勘どころ」

9月の一木会でお話いただいた
UIFA JAPON（国際女性建築家
会議 日本支部）さん発行の冊子。
としまち研にも数冊在庫がありま
すので、ご希望の方は事務局まで
お問い合わせください。



☆ホームページからも閲覧できます。

<https://uifa-japon.com/publishments.html>

QRコード読み取りはこちら→



▼ としまち研 部会などの開催予定 ▼

コーポラティブハウス部会	11/22(木) 18:00～
マンション再生部会	11/6(月) 16:00～
人と暮らし部会	11/6(月) 18:00～
総務広報部会	
としまち研理事会	未定

※部会やイベント等につきましては、としまち研の会員
メーリングリストで配信される案内をご確認ください。

▼ 2023年度マンション再生連続勉強会 ▼

今年度は「マンションが築50年を迎えたら」
をテーマに、会場+オンラインで開催中です。

どなたでも大歓迎です。ぜひご参加ください！

.....

【第4回（開催完了）】

10月12日(木)、(株)BERI代表の馬場 道彦氏に
「マンションの構造と耐震診断について」お話し
いただきました。昨年度
に引き続き、「一般人に
もわかりやすい！」と
とても好評でした。



勉強会の様子 →

.....

【第5回】

日時：11月9日（木）18:30～20:00

講師：成田 至弘 氏(としまち研理事)

「マンションの給排水管改修実例」

【第6回】

日時：12月14日（木）18:30～20:00

講師：大木 裕悟 氏(としまち研理事)

「(仮)マンション建替えの事例について」

としまち研 Instagram（インスタグラム）
フォローをお願いします！

右のQRコードを読み込んでいただくか
「npo_toshimachiken」で検索すると
出てきます。

☆Facebookページもあります。

としまち研HPからアクセスできます。



NPO_TOSHIMACHIKEN

□ 編集後記

漸く秋本番ですが、会員の皆さまはお元気でしょうか？ 私達日本は約70%が山や森林、
他国には無い四季の風情が楽しめます。生きてる全ては振動（周波数＝ヘルツ＝Hz）してい
ますが、地球は7.83Hz.人体は5～20Hz。うまく共鳴すると癒しを得、免疫力も高まり
ます。さあ、野山に出かけましょう！本年度5回目が無事発行、ご寄稿協力に感謝致します。



*右はアフリカ旅でサハラ砂漠から持ち帰った「砂漠のばら」。砂の化石で約W25cm。発光するパワーを貴方へ送ります！諏訪

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階
TEL：03-5207-6277 FAX：03-5294-7326
E-mail：info@tmk-web.com ホームページ <https://www.tmk-web.com/>
Facebook： <https://www.facebook.com/toshimachiken/>
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研の現在の会員数
正会員52名 賛助会員24名
編集発行人 牧野 恭久
事務局担当 諏訪 恵里子

